

## 環境学委員会 環境政策・環境計画分科会 第24期第1回分科会議事録

- 日時： 平成30年3月7日（水） 10:00~12:00
- 会場： 日本学術会議5階 5-A(1)会議室
- 議題： 1. 委員長選出  
2. 第24期の活動方針の検討（資料1）  
3. その他
- 出席者： 西條辰義委員（スカイプ）、春山成子委員、平澤毅委員、福永真弓委員、村上暁信委員、森村進委員、山本佳世子委員、吉田謙太郎委員、横張真委員（スカイプ）
- 欠席者： 高村ゆかり委員、石川幹子委員、枝廣淳子委員、大久保規子委員、大塚直委員、桑野園子委員、谷口真人委員、藤原章正委員、森口祐一委員、

### 議事要旨

#### 1. 委員長選出

- 司会の村上暁信委員から委員長選出に関して発議があり、横張真委員に委員長をお願いすることが提案され、承認された。
- 横張委員長から副委員長に西條辰義委員、幹事に福永真弓委員、村上暁信委員が指名され、承認された。

#### 2. 第24期の活動方針の検討（資料1）

- 横張委員長から、学術会議においても重点課題のひとつとなっているフューチャーアースの展開、co-design や co-production を進めていく上での課題について話題提供がなされた。その上で、様々な主体間を繋ぐための中間組織、媒介を育てていく必要性について説明がなされた。それを踏まえた第24期の環境政策・環境計画分科会の活動方針について提案がなされた。
- 各委員から自己紹介とともに、本分科会への期待、co-design や co-production に関連のある研究、実践の経験などが紹介された。
- 横張委員長、各委員のからの問題提起、意見、期待することなどを踏まえて、第24期の本分科会の活動方針について議論を行い、以下のような意見が出された。
  - フューチャーアースは多様な分野の連携を目指している。本分科会には多様な専門分野から委員が集まっており、フューチャーアースのことを議論するのに大変適した場になっている。
  - 各委員からの発表は、倫理や概念の話、技術的側面の話、ケーススタディという3つに分けられるのではないか。今後の議論も、この3つを軸にして進めていくのがいいのではないか。
  - 設置主旨にも述べられているように、社会の中でどうやって実現していくか

という点が重要だろう。そのためにも、一般の人々と学術がいかにパートナーシップを構築していくかという点に重点を置いてはどうか。「パートナーシップ」をキーワードに据えてはどうか。

- パートナーシップにも「市民と学術のパートナーシップ」と「専門分野間のパートナーシップ」の2つがある。両方を議論に含めていくべきではないか。
  - 前期の議論を受ける意味でも、将来・過去という時間軸についても注意を払うべきではないか。
  - 今期の目標として、「学術の動向」の特集記事を執筆することを考えてはどうか。これからの議論を軸ごとに進め、それぞれが章になるような目次建てができるといい。またこれからの分科会は毎回2名程度の委員から話題提供をしてもらって議論を深めていくといいのではないか。
  - 前期分科会では、フューチャーアースの枠組みを問い直す作業を通じて議論をした結果、「将来世代」を政策などの議論に含める必要性が導かれた。そこでの成果は今期、別の小委員会で議論を引き継ぐことになった。前期の本分科会での議論を、また別のアプローチから展開できるといい。
- 議論を経て、以下の点が出席委員で合意された。今後メールでの連絡を通じて第1回分科会欠席委員からも同意が得られれば、記載された方針で進めることが確認された。
    - 異なる主体間を繋ぐ中間組織等のあり方、様々なパートナーシップの姿を議論していく。
    - 当面は、「倫理・概念の話」、「技術的側面の話」、「ケーススタディ」という3つの軸に分けて議論を深めていく。
    - 毎回2名の委員から話題提供をしてもらうこととし、今回は森村進委員、福永真弓委員に Environmental justice, Climate justiceなどをキーワードにして話題提供をしてもらう。

### 3. その他

- 次回分科会は、改めてメールで日程調整の上で開催日を決定することが確認された。